

## 狛江古代カップ第32回多摩川いかだレース に美しい多摩川フォーラム号が出艇！



ゴール直後の美しい多摩川フォーラム号乗船メンバー5人と細野会長  
(左から、平林狛江副市長、ダニエル・カール副会長、オリンピック・村上茉愛さん、  
平岡副会長、石川酒造・石川彌八郎さん、細野会長)

2024年7月21日(日)、狛江市の夏の風物詩である「狛江古代カップ第32回多摩川いかだレース」が、狛江市の多摩川五本松～宿河原堰手前(約1.4キロメートル)のコースで開催され、山梨県、神奈川県、千葉県、栃木県、新潟県、都内や地元狛江市を含む1都5県23地域から85チームが参加して優勝タイムを競い合いました。

イベント当日は、梅雨明け直後の快晴に恵まれ、会場ではカラフルで個性豊かな「いかだ」85艇が所狭しと並び、参加者の熱気であふれていました。開会式では、松原狛江市長が主催者を代表してご挨拶された後、当フォーラムの細野会長が来賓として紹介されました。続いて当フォーラムのダニエル・カール副会長(いかだレースキャプテン)とスペシャルゲストの村上茉愛さん(2021年東京オリンピック体操床銅メダリスト)が選手を代表して選手宣誓をおこない、大会の安全を誓いました。

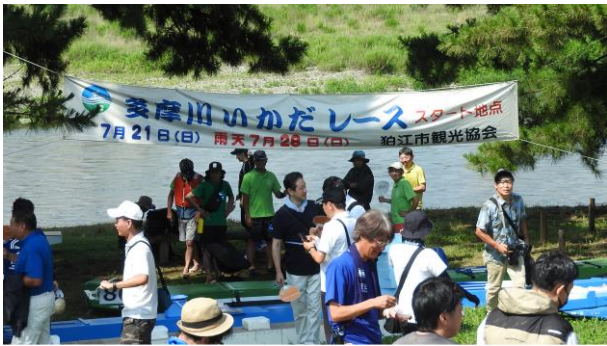
美しい多摩川フォーラム号は14年連続で参加し、今回も第1レースに出艇しました。スタート直後、一番左岸側に位置していた美しい多摩川フォーラム号は、乗船メンバーのひとりである狛江市・平林副市長の指示でいきなり右に舵を切り、あわや衝突・転覆するのではないかと思えるほど「警視庁 調布警察署」チームとデッドヒートを繰り広げ、会場を大いに沸かせました。

序盤から1位に躍り出た美しい多摩川フォーラム号は、石川酒造・石川彌八郎さんのリズムカルな笛の合図に合わせて順調にバドルを漕ぎ進め、最後まで順位をキープしたままゴールすることができました。

結果は、昨年よりやや順位は落ちたものの、総合順位は23位(前回は18位)、タイムは18分52秒(前回は17分51秒)となり、審査委員特別賞をいただきました。

美しい多摩川フォーラムでは、来年も参加し、多摩川いかだレースを大いに盛り上げ、多摩川中下流域でのフォーラム会員の拡大や知名度アップ等に繋げていきたいと考えています。

# イベント当日の様様



スタート地点の多摩川五本松。  
32回目の今年も快晴に恵まれました。



会場には85艇のカラフルないかだが  
所狭しと並びます。



松原狛江市長から開会のご挨拶。



ダニエル副会長と村上茉愛さんによる選手宣誓が  
おこなわれ、いよいよレースがスタートします！



美しい多摩川フォーラム号は第1レースに出艇。  
重たいいかだをみんなで協力して岸辺まで運びます。



いよいよレースがスタート！フォーラム号は  
左岸側からいきなり右に舵を切る作戦に出ました。



あわや衝突？と思えるほど「警視庁 調布警察署」と  
デッドヒートを繰り広げ、1位に躍り出ました。



その後は石川彌一郎さんの笛の合図に合わせて  
順調にパドルを漕ぎ進めました。



最後まで1位をキープしたままゴール！  
序盤のコース取りも功を奏し、総合順位は85艇中23位と、まずまずの成績でした。



レース終了後、ゴール付近に設けられたバーベキュー会場で労をねぎらいながら関係者で乾杯。



お酒がほどよくまわったところで石川彌八郎さんから  
粋なハーモニカ演奏が披露されました。



その後も続々と繰り上げられるレースを応援する  
ダニエル副会長と石川彌八郎さん。



表彰式のステージにはダニエル・カール副会長、平岡副会長と石川彌八郎さんが登壇し、  
会場を大いに盛り上げつつ、審査員特別賞をいただきました。「みんな、来年も頑張っぺ！」